

# 井草中CS(コミュニティ・スクール)便り 第13号

2012年 11月 21日発行 CS広報部発

文部科学省主催

## 「地域とともにある学校づくり推進協議会」で発表!



「井草中学校に関わる人々みんなで、学校を楽しみましょう」

副校長 佐々木啓之

8月10日、川口市で開催された、文部科学省主催「地域とともにある学校づくり推進協議会」で坂野CS会長とともに「コミュニティ・スクールの具体的導入の在り方、充実に向けた方策について」というテーマで、事例発表をしました。今年度の地域とともにある学校づくり推進協議会は、全国7会場で開催されます。川口会場にも、地域運営学校の学校関係者やこれから地域運営学校を立ち上げる学校関係者、教育関係者が全国から集まりました。

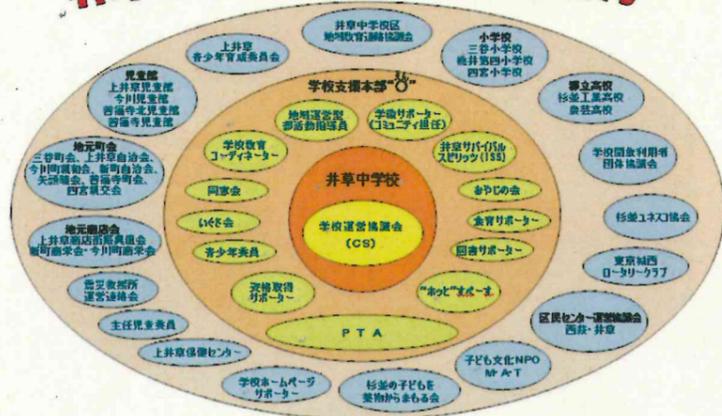
井草中学校は平成19年にCS(コミュニティ・スクール)の指定を受けました。学校運営協議会には地域の方、保護者の方、学識経験者が学校運営に携わっています。独自の生徒アンケートを実施し、「井草中の良さ」や課題を見つけるお手伝いをしたり、CS便りを発行したりし、活動を広く保護者の皆さまや地域の方達に知っていただけるようにしています。

一方、地域が学校とともに子どもたちを育てるために、平成17年に学校支援本部“えん”が発足しました。“えん”は、学校を直接支援する団体・人の連絡協議会であり、その後も新たな組織が生まれ拡充してきました。授業や学校行事・部活動等のサポーターで、学校支援の人材の宝庫でもあります。“えん”にはCS委員もメンバーに入り、お互いにイコールパートナーとして行動・情報の共有をしています。

さて、今回の事例発表で一番注目を集めたのが「学級サポーター(愛称:コミュニティ担任)制度」です。CS委員や支援本部委員もコミュニティ担任(通称:コミ担)となり、学校・学年行事の応援や道徳・総合的な学習の時間などのゲストティーチャーとして参加したり、家庭教育アドバイザーとして保護者会へ参加したりしています。一年間、担当のクラスの生徒・保護者・学級担任の応援団として活動し、全国的にも先駆的な取り組みです。

井草中学校では、コミュニティ・スクールの充実のために、「地域の学校として井草の特色を生かした安心・安定した教育を目指す学校づくり」など、地域・保護者・学校が、共に井草中の夢を語り合い、子どもを育てる共通の目標をもつことを大切にしています。今年も8月27日に、教員・PTA・CS委員・支援本部委員で交流研修会を開催しました。保護者のみなさん、地域のみなさん、できる時に、無理のないところで学校の活動に参加してみてください。ちょっと顔を出すだけでも大丈夫です。井草中学校に関わる人々みんなで、学校を楽しみましょう。

## 井草中学校を取り巻く地域力



## 8月校舎完成!



校庭は来年3月の完成目指し工事中です。

正門

C棟屋上庭園

ハリサイン



完成したC棟には特別支援学級や学校運営協議会委員室、地域開放の和室や大会議室もあります。

敷地周辺緑化



校舎外観



西門

11月6日(火)、杉並区主催の落成式典が挙行政され、工事関係者、区役所、都議会議員、区議会議員、PTA及び地域の代表の方々多数が列席されました。式典では2年生が生徒代表として感謝の意を込め、合唱(「Let's search for Tomorrow」と校歌)を披露しました。

力強い歌声が新体育館に響き渡りました。



## 8月27日(月)

### 教職員、CS、支援本部、PTAとの交流研修会



目的は・・・

- 学校運営協議会委員・学校支援本部委員・PTA役員と教職員の意見交換の場をとおして、相互の理解と連携の深化を図っていく。
- 地域運営学校として継続的な活動を続けていくための体制、活動、人材の循環などについて展望を話し合う。

各班に分かれ・・・

「これからの地域運営学校のあり方」～支援本部にできること、PTAにできることをテーマに話し合い、各班発表しました。



最後に・・・

一年に一回、教職員、PTA、地域の人々が、班ごとに鉄板を囲んで、楽しく会話を交え昼食をとりました。

9月26日(火)

文部科学省の方がCSを見学に見えました。



8月10日に「地域とともにある学校づくり推進協議会」で井草中が発表した内容の中で、全国唯一の“コミ担制度”について、文部科学省の担当者が興味をもたれ、是非井草中を視察したいとのことで訪問されました。

当日は文部科学省の男性2名女性2名の職員が来校され、支援本部会議、コミ担連絡会及びCS協議会を約4時間にわたり見学されました。また、コミ担連絡会では、それぞれのクラスの話し合いに入って意見をいただきました。多くの地域の人々が、それぞれの立場で積極的に井草中の生徒の健やかな成長のために関わっていることを高く評価されておりました。

**さすが文科省から表彰された井草中ですね！！**

お見えになった方で杉並在住の方がいらっしゃいましたので早速、ゲストティチャーとして、「中学校の現場を見に来てください」とお願いしました。！！



10月23日(火)

合唱コンクール

コミ担からの応援メッセージポスター



A組

B組

C組



練馬文化センターで井草中伝統の「合唱コンクール」が開催されました。各学年・クラスともに素晴らしい合唱を披露しました。また、吹奏楽部は、会場が一体となる演出で見事な演奏を行い、大いに盛り上げてくれました。なお、本番前週の20日土曜日には公開リハーサルを体育館で行い、本番当日が平日のため出席できない保護者の方々や地域の小学生にも鑑賞いただきました。



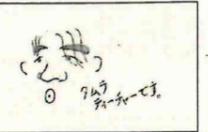
D組

E組

I組

## リレーエッセイ

井草中学校教務主任 田村 充



毎年卒業していく3年生男子に対し、保健体育の授業で文章を送っています。今まで送った文章のなかで、特に反響があり想い入れのある文章が「海」をテーマにしたものです。その文章とは、「あなたは海を知っていますか？幼少期の私なら間違いなく『はい』と答えていました。それは、海水浴場で家族と過ごした経験があったからです。ですが、今の私は『いいえ』と答えます。それは、サーフィンで海の広さを体験し、ダイビングでその深さに触れ、海の広さを垣間見たことで、自分が何も知らないことに気がついたからです・・・略・・・義務教育を終え、新たな世界に旅立つ君たちは、これから多くの物事の真髄を自分の意思で求める探究者となっていくでしょう。」という文章でした。

今年度の合唱コンクールで、私はこの文章を思い出しました。

1年生は初めて海に触れたような歓喜に満ちたはつらつとした歌声を聴かせてくれました。2年生は海の広さや深さに触れたように、合唱の奥深さに驚きながらも、勇気を振り絞り、仲間とともに課題を乗り越えていくような慎重かつ、丁寧な歌声を聴かせてくれました。そして3年生、広大な海を知り、表現するかのよう、すべてを包み込む優しさが溢れた歌声でした。

中学生は物事の一端ですべてを判断してしまうことが時としてあります。しかし、井草中学校の生徒は、多くの大人とかかわりのなかで、物事を多角的に捉える力を自然と育むことができています。これはとても幸せなことだと考えています。

井草中学校の教育目標である「豊かな心」とは、多くの体験を通し、物事を多角的に、柔軟に受け止め、自分の成長の糧としていく力のことだと考えています。

3年生は今後出会うであろう更なる大海原のなかを井草中で培った力を発揮し、たくましく乗り越えていくことでしょ。

今後も多くの地域の方々のお力をお借りし、「豊かな心」を育む教育活動を実践していきたいと考えておりますので、お力添えよろしくお願いいたします。

## リレーエッセイ

CS委員 鈴木雅也



「地域」という仕切りの中には、専門職の人材が豊富に揃っています。いわゆる専門家の巣窟って感じです。というより、生きとし生けるもの、その全ての生き様が、それぞれ専門家であると解釈せざるを得ないほど、「生」という世界では、計り知れない数の正当論が存在すると考えられます。ですから「専門」という仕切りには、無限の広がりがあると考えられます。

私、只今、井草中学校の学校運営協議会委員です。いわゆるCS(コミュニティスクール)委員ってやつ。簡単に言うと、教育委員会の命により、中学校の運営や、経営に関してパートナーとしての意見を、また、管理職や教職員に対する人事の、具申権を有するという立場を与えられています。だからといって、何もえらそうな事をいうつもりはありません。教育現場の専門家は、やはりその道の専門家。その道では、相当の説得力や常人では持ち得ない力を持っています。私達は、その専門性に対して、一般知識程度の助言や、専門家の見落としがちな事象にたいして助言を呈する立場だと捕らえています。いやいやこれも、確かに、解釈は千差万別ですが・・・とにもかくにも、その先に見据えるものは何か？未来を支える人材が、その又未来を育む力ってやつをもてたらステキだなー、と、思って、存在させていただいております。

井草中の皆さんには、「社会に生きる力」というより、「社会で生きぬく力」、いわゆる、上記で田村教諭のリレーエッセイの文面に表現されている本当の力、「豊かな心」と「たくましい力」。我が解釈とし例えるなら、「生命力」ってやつを大事に育んでいって欲しいと願っています。